

尼崎市老連
大庄地区

老連ふれあい

第46号

発行 大庄地区老人クラブ連絡会

事務所 尼崎市大庄支所内

電話 (06) 6419-8225

編集協力 (株)博報社 大阪市平野区喜連西 4-6-69 ☎ (06) 6797-0212



就任のご挨拶

大庄地区老人クラブ連絡会
会長 中崎 紀夫

昨年末に後期高齢者の仲間入りをしました。

この度、吉川会長の退任の後を任されました。経験も力量も微々たる私ですが、精いつばいの努力をいたします。

創立五十周年の記念行事もめでたく終え、新しい時代に向かう序奏の年。特別なことを考えるのではなく、静かに息長く、大庄老連が会員のため、仲間作りのための会として発展していける一助になればと思っています。会員各位

のご協力をよろしくお願いいたします。

さて、大庄老連の運営にあたり、新米の会長として、会員のみなさんに伝えたい事を箇条書きで述べます。

- 一、前年度の方針・活動計画を推進する。
- 一、一人ひとりが心豊かにいきいきと生きる。
- 一、周囲の人たちと和気あいあいと楽しい雰囲気の間を共有する。
- 一、私たちには長い高齢期が

与えられている。身近な「向こう三軒両隣」を出発点として地域との結びつきを深める。

- 一、大庄地区の高齢者は、約一万七千人。高齢化率は三〇%超。この現状から、明るいまちづくりのために高齢者同士の支えあいが重要になってくる。
- 一、長続きする活動を心掛ける。普段着姿で振る舞う。

今、私は何から取り組めば良いのか、何も分かっていません。

自助・共助とともに元気老人を目指して、よろしく願いいたします。



会長退任のあいさつ

大庄地区老人クラブ連絡会
前会長 吉川 博

平成二十四年四月より、二期四年にわたって大庄老連会長の職を仰せつかって参りましたが、平成二十八年三月末日をもって退任いたします。

二月には大庄老連結成五十周年記念行事も盛大に挙行することができ、ひとつの区切りとして大庄老連も新たな時代を迎える運びとなりました。

在任期間中は役員各位はも

ちろんのこと、会員の皆さま

や関係各位の皆さまには、ご支援、ご協力をいただき、また、時には励ましの言葉もいただくなか、会長の重責を担うことができましたこと、心よりあつくお礼申しあげます。

特に市老連運動会では、会員の皆さまと一緒に汗をかく、三連勝の偉業を成し遂げたこと、一生の思い出になる

ことでしよう。これは「何事も知恵を出し合って、心をひとつにして挑戦すれば必ず夢はかない、結果はついてくる」のお手本のようなものでした。

後任には、西大島の中崎会長が就かれ引き継いでいただきますので、会員の皆さまや関係各位の皆さまには今後とも倍旧のご支援、ご協力を賜りますようお願い申しあげまして、退任のごあいさついたします。



2ページへGo!

大庄地区老人クラブ連絡会は創立50周年!

「仲間」と「絆」で幅広い活動を

大庄地区老人クラブ連絡会は平成28年2月10日、大庄地区会館2階ホールで「創立50周年記念式典」を開催しました。その様子を同日に催された「会員ふれあいの集い(演芸大会)」とともに2ページに特集しています。ご覧ください!



私たちは、大庄地区老人クラブ連絡会の活動を応援しています

10月14日、15日
女性部健康づくりプログラム〈市老連共催事業〉
資生堂美容教室 コミュニティルーム



☆参加者 14日12名、15日16名

11月19日
女性部健康づくりプログラム〈市老連共催事業〉
笑いと健康体操
地域総合センター今北



☆参加者 31名

2月10日
創立50周年記念式典と演芸大会
会員ふれあいの集い



☆参加者 式典257名

10月7日
長寿ふれあい運動会
への参加(市老連主催)

記念公園ベイコム総合体育館
大庄地区3位



☆参加者61名

9月25日 会員ふれあいのつどい



あべのハルカスと
さかい利品の杜
石切温泉

参加者103名

1月14日 新春初詣三社まいり
春日大社、石上神宮、宇陀水分神社



☆参加者81名

大庄老連 のメモリー

平成27年度事業報告



鷺羽温泉、
瀬戸内クルージングと
備中高松城跡
☆参加者37名

6月4～5日
会員ふれあい旅行
(1泊2日)



10月21日
第23回グラウンドゴルフ大会
武庫川河川敷公園(県立尼崎西高校西側)



☆参加者131名

男子優勝 高橋敏雄さん(稲葉荘第二福寿会)
女子優勝 穂積妙子さん(南部瑞長会)
ホールインワン賞 18名(男子12名、女子6名)

平成28年度 大庄老連事業計画

〔事業方針〕

大庄地区老人クラブ連絡会は、健康で心豊かな生きがいづくりや奉仕活動を通じて、地域社会に貢献することを目指して、次の事業を実施する。

1 健康推進活動

●10月 長寿ふれあい運動会への参加【市老連主催】
●おおむね10月以降
女性部健康づくりチャレン
ジプログラムの実施【市老
連共催】(健康体操、美容
講座、ニュースボート)

2 社会参加、地域交流、社会奉仕活動

●年間 各ブロック開催事業
振興助成の実施
●5月 春の10万人わがまち
クリーン運動への参加
●9月 大庄まつりへの参加
(バザー出店等)
●9月 「社会奉仕」斉活動
の日 清掃の実施
●11月 秋のわがまちクリー
ン運動への参加
●随時 各種大会及び地域交
流会への参加

3 教養向上運動

●6月 女性部代表者会、女
性部セミナーの実施【市老
連共催】
●随時 会員研修会の実施

4 レクリエーション活動

●6月 会員ふれあい旅行
(1泊2日)の実施
●9月 会員ふれあいのつど
いの実施
●11月 女性部ふれあいのつ
どいの実施
●1月 新春初詣三社まいり
の実施

5 広報活動

●老連ふれあい第46号(6
月・47号(11月)の発行

6 その他

●書き損じハガキ等の募集

7 各種会議

●決算監査(4月、総会(5
月)、役員会・ブロック部会
(随時、基本毎月第一小曜)
会長会(随時)、女性部会
(随時)、広報部会(随時)

私たちは、大庄地区老人クラブ連絡会の活動を応援しています

祝 大庄地区老人クラブ連絡会 創立50周年記念式典

平成28年2月10日(水) 大庄地区会館2階ホールにて

創立50周年記念式典は、橋本副会長の開会の言葉で開幕。物故者に対する黙とうを捧げた後、吉川会長はあいさつの中で「50周年はあくまで通過点。日頃から養われたネットワークを生かし幅広い社会活動を通じて組織強化を図ろう」と力強く述べ、大庄老連のさらなる発展を願い会員に協力を求めました。

笑顔が満開! 会員ふれあいの集い(演芸大会)

式典の後は、大庄老連創立50周年行事「会員ふれあいの集い(演芸大会)」がスタート。カラオケ、手品、民謡、舞踊と多様な演目が披露され、会場は大いに盛り上がりしました。



来賓のあいさつでは、村山副市長、市議会の前迫副議長、尼崎市社会福祉協議会大庄支部の藤原支部長、大庄地区婦人連絡協議会の荒木会長、尼崎市老連の中谷会長からお祝いの言葉をいただき、その後、協賛金の贈呈が行われました。

最後に単位クラブ会長として永きにわたり活躍されてきた方々に感謝状の贈呈が行われ、代表で道意第7千歳会



吉川会長



橋本副会長

感謝状を授与された方々

※敬称略・順不同

小林 常雄(道意第7千歳会)
中崎 紀夫(西大島杵柄会)
寺岡チカ子(崇徳院第5寿会)
橋本寿賀子(ことぶき会)
飯田 幸男(浜田第2寿クラブ)
小田 佳子(東大島第3白寿会)
安川 稔(浜田第5寿クラブ)
吉川 博(稲葉荘第2福寿会)
堀川美智子(女性部長)



私たちは、大庄地区老人クラブ連絡会の活動を応援しています



春が来ると町内の公園に私たちの心を和ませてくれる一本の桜があります。も

中央大庄 80人が参加の敬老ビアガーデン

私たちシニアクラブ「以和貴会」は、元気で。年々会員が増え、五年前には五十名を超えるのがやっとでしたが、今年は九十六名になりました。

なぜ増え続けるのか？「人と人のふれ合いこそ元気の源」と、ふれあいのために数多く取り組んでいる



私たちが団地ではいま、「健康のまちづくり」運動をすすめています。この活動を担うのは、ほぼ全員が以和貴会のメンバーです。まずは高齢パワーであふれています。

なぞなぞでちょっと一息！

- Q 1 カツオ、ワカメ、タラちゃんて高級店に行ったら店員がくっついて離れないのは誰でしょう？
Q 2 きちゃんと正座した丸を何と呼ぶ？
Q 3 いつも怒っている人ばかり通る道はなに通り？
Q 4 何もものを言わないばかり乗っている船の名前は？
Q 5 かけてもかけても前にすすまないものってなに？

答えは7ページです

私たちは、大庄地区老人クラブ連絡会の活動を応援しています

単位クラブとして毎年四月に花見会を開催しております。今年で十一年目を迎えることができました。昨年は十周年記念として元浜緑地散策、昼食は中華和食で龍あんで食事をいただき、カラオケ付きで楽しいひとときを過ごしました。三十一名の参加でした。

者宅を訪問したり歩行を行っています。他にもいろいろ活動をしてあります。ブロックは第一、第三、第四、第六の四つのブロックで成り立っています。今年の三月三十一日で第七クラブが解散致しました。ブロック行事として毎年一月に新年会を行っています。東夢浦ブロック役員会七松シスターズのフラダンス、開催日平成二十七年十一月二十二日、場所は東福祉会館、参加者四十名。フラダンスの後、カラオケ、食事会で盛り上がり

りました。フラダンスでは、あこがれのハワイアンを踊っていたとき、皆さまに若返っていただきました。

大庄西ブロックは、平成二十七年年度から大庄西と大庄中央に分割し、千夏会、チームあい、大庄西気楽会

の三単位クラブで再スタートしました。活動は、社協と連携をとりながら、会員の加入促進、地域の清掃、子供見守り活動、会員ふれあい旅行の開催、健康体操、歩こう会の開催などを行っています。ブロック事業としては、昨年の十二月二十日に、健康セミナー「健康の源は笑いから「笑おう会」を開催しました。内容は、①尼崎市健康支援推進担当様による健康講座 ②お笑い三連発で、落語の桂しかえもん・漫才の地獄の遺伝予・

落語の桂和歌ぼん ③老人給食の試食会 ④カラオケ・唱歌合唱と盛りだくさんでした。今年度も引き続き、健康をテーマに活動していきたいと考えています。

(大庄西ブロック長 高木 健一)

東 春の花見会 親睦会



西大庄 健康セミナーを開催！



私たちは、大庄地区老人クラブ連絡会の活動を応援しています

北 今 クラブ発足六年目を迎え思う事

春が来ると町内の公園に私たちの心を和ませてくれる一本の桜があります。も

北の町ができて四十九年目なのに、大庄老連は五十年を迎えました。これまでの先輩たちの努力と心の温かさ

結論、総数十八名に参加していただきました。集合場所は、ガスト前九時三十分でした。バスは定刻にきていただきました。尼崎から川西までの約一時間のバスです。道中は皆さんそれぞれ和気あいあいに話が弾んでいました。不死王閣は、

私は初めてで、いい温泉だと思いました。着いてすぐ皆さんは待望の温泉にそれぞれ誘い合い行き、ひとときの疲れを癒やして、膳に集まってもらいました。ある程度食事が進むと、やがてカラオケが始まり、リクエストを書いてもらい、拍手とともに声援を送りました。滞在時間は約三時間でしたが、皆さんに喜んでもらえたので良かったです。また、こんな旅行だと気楽でした。

(大庄西ブロック 飯田 幸男)

崇徳院 「カラオケ」の世話人として

創立五十周年おめでとうございます。大庄老連のますますのご発展をお祈り致します。

茶、おやつをしながら三曲から四曲歌って楽しんでおります。

また、一年を通して、春にはお花見会、年末には忘年会と銘打って、食事、少し飲酒もしながら、ますますの親睦を図って地域の方々と人生を楽しく謳歌しています。

どなたでも自由にご参加ください。

(崇徳院第一寿会 進藤 繁子)

蓬川 地域活動

目になります。窪田会長を中心に皆仲良く活動しています。まだまだ老人クラブに入会する人が少なく家の中にこもっているのではないだろうか。老人クラブに入って皆さんといういろあしやべりしませんか。楽しいですよ。

今年は桜満開の中でお花見をすることができました。皆で楽しくワイワイ騒ぎ、ビンゴゲームをしました。「景品つき」、来てよかったとの話もしていました。地域の皆さんと交流を深め、楽しく時間のたつのも忘れていました。引越してこ

私たちは、大庄地区老人クラブ連絡会の活動を応援しています

会員文芸

◆ ◆ 俳句 ◆ ◆

崇徳院第1寿会
瀬下 正

初詣で家族揃って晴姿
雪国の折れた重みで枝に咲く
初雪の美人の先に薄化粧
閑校で後姿の教師かな
道しるべあと一息の湯の煙
庭校で君を見送る峠道
残雪もやがて平野の田植かな
六甲を登る山道初夏の風



元浜北福寿会

西邑

宏

◆ ◆ 川柳 ◆ ◆

道意第2千歳会

三場 英之

「老いらく」

習わずにいつのまにやらマジシャンに似て非なるモノの重さ、気の重さ、ぐつたりは歳が暑さ、かいずれ知れ80が青春(18) キップ握りしめ立ち歩くべたほめされるそれだけで、老いのさか子どもにもどるスリル感あふのころの夕暮れの空が、つたてたやみにまばゆい光しかと見る

原稿募集

次号、老連ふれあい47号(平成28年11月発行予定)では、より多くの皆さまにご投稿いただきたいと考え、従来の募集に加えて、新たにテーマを決めて原稿を募集することにいたしました。

次号のテーマは「私の健康法」です。皆さんが日々心掛けている健康法、運動や食生活など、健康にまつわるエピソードをご投稿ください! たくさんの原稿をお待ちしております。よろしく願いいたします。(締切は9月末日/提出先は各広報部員まで)

★そのまゝのそそりか①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿

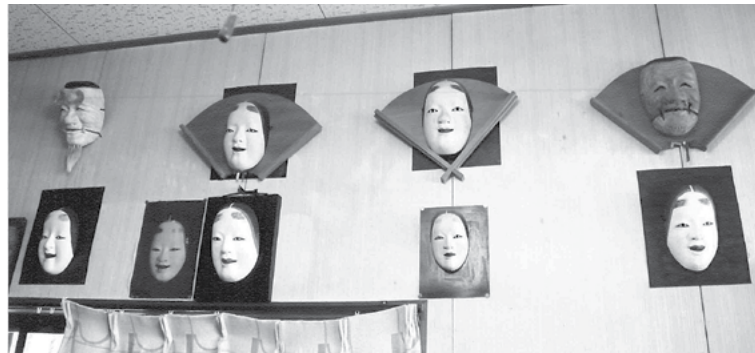
私たちは、大庄地区老人クラブ連絡会の活動を応援しています

投稿欄

小面と翁

道意第2千歳会

武林 耕二



四十代で能面作りを一年ほど習ったあと、自分流に研さんを重ねつつ、コツコツと作ってきたものです。以来二十年ほどのブランクがありますが、定年を機にさらに本格的な作品制作に取り組みたいと思っています。

記念誌ウラ話

記念誌が会員の皆さまの手元に配布されて、いろいろな言葉を頂戴しました。ありがとうございます。

昨年の4月の部会で50年という話が出ました。記念誌を出すということは、私はとても大変なことだと思いました。6月の部会で話が出て、やはり記念誌を出すとのこと。予算、内容など、さて、どのように取り組んでいくかです。8月頃より本格的に話し合い、広報部としても初めての取り組みでもあり、50年全部は難しいので最近10年とすることにしました。吉川会長の思いも大きく、出来るだけ写真面も多く、文字ばかりにせず、明るく見やすい読みよい記念誌ということに一致して、事務局には資料のことでは大変お世話になりました。表紙の題字も部員の今西さんに書いていただきました。

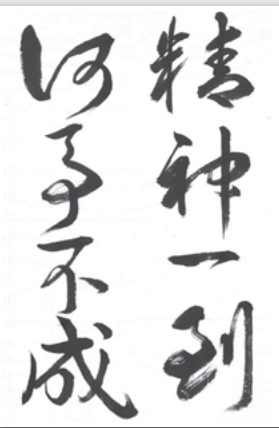
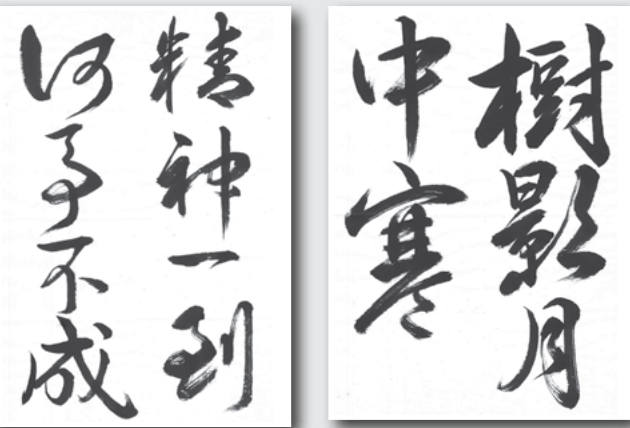
1冊の記念誌にするのには話し合い、物の見方、さまざまな考え方がありました。私たちは仕上がった記念誌に感動と感謝があります。会員の皆さま、末長く手元に置いて下さい。(編集長 松永 幸枝)



書道コーナー



東第6琴浦クラブ
今西慶太郎



投稿欄

私の朝

青空クラブ 和平 好隆



朝六時、携帯電話の目覚ましで起こされ、雨の日以外は近所の浜田公園へ出かけ六時三十分まで徒歩を行い、ラジオ体操に力を注いでおります。一生懸命やる

と息が切れるものであり、ラジオ体操ラストの深呼吸を行うとほっとします。その後、公園の中を知らない人々と歩いて、七時四十分頃までスポーツの話をとで盛り上がっています。歩くことで一日一万歩以上を目標としていますが、浜田公園で一万歩に満たない場合は他の機会ですくようにしております。

私は「尼崎市いきいき100万歩運動事業」に加入しており、平成二十六年七月四日から始めて、現在まで六四〇日連続で一日一万



JRフルムーンで日本縦断の旅

道意第6千歳会 黒田 稔



昨年の冬、憧れの大阪から札幌間を走るトワイライトエクスプレス号が三月で運転休止となるので、この機にこの列車を利用して北海道から九州まで十二日間の旅を計画しました。

身内から高齢で無理と反対されましたが、好きなことをするのには「何とかなるさ」と大口をたたき、まず寝台特急の予約を一月か



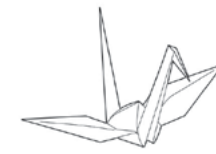
ら毎日立花駅まで通ったが、満席のため結局取ることができず、新幹線を主に切り換え実行することになりました。北海道網走には大雪のため釧路止まりとなり、網走流水も見られず、他にいろいろ問題が発生しましたが、札幌雪まつりは初日に一日中楽しめ、満足

して定山溪温泉で宿泊し、以後予定通り、函館から青森、東京と乗り継ぎ、自宅まで一泊、翌日から九州とゆつくり休憩をとりました。

翌朝、鹿児島指宿温泉に直行宿泊。以後熊本、阿蘇温泉、湯布院温泉、別府温泉、四国道後温泉の予定でしたが、指宿温泉から体調が悪くなり、阿蘇温泉の迎えの車で医院にお願いし、脱水症状と診断され、点滴など二日間受け、残念ながら以後の旅行を諦め各旅館にキャンセルをお願いし、帰途になりました。九日間

の旅で終わりました。

続、今年五月中旬に阿蘇でお世話になった宿、医院の先生にお礼に行く計画をしておりますが、思わぬ熊本地震で、特にお世話になった南阿蘇の送迎をしていただいたJR赤水駅で列車断線。いずれ地震が落ち着いたら、時期をみて南阿蘇へお礼に行きたいと考えております。



昔の記憶

蓬川さんかの会

前田 暢子



昨年、八月十五日は戦後七十年。うろ覚えの昔の記憶を辿ってみることに。

私は昭和十年に新京(現中国・長春)で生まれた。日本人学校の冬は校庭がスケート場で、生徒は全員スケート靴を履いて朝礼に集まった。「寒い北風吹いたとて、中略、満州育ちの私たち」と元気に歌って楽しい日々を過ごしていた。零下二十度という寒さでも煉瓦建ての家はベチカで暖かだった。やがて、昭和二十年にソ連の参戦によりソ連軍が新京にも空爆にくるようになり、父の会社の家族と北朝鮮に集団疎開をした。もし疎開せずに残っていたら、私は中国残留

孤児になっていたかもしれない。疎開して一月ほど経った頃、北朝鮮のお寺の庭で大人たちがラジオを聞いて泣いていたので、子供心にも戦争に負けたんだと感じた。「お母さん、おじやうて言ってもお米入ってないよ。雑草ばかりの雑炊をする日々。とある日、姉と二人で港の方に雑草を摘みに行った。銃を持ったソ連兵に監視されながら軍服姿の捕虜の日本の兵隊さんが、倉庫から停泊の船までドンコスの袋を肩に担いで運んでいた。私を見て同胞だと分かったのか。監視に気付かれないように、数人が一言もしゃべらずに

袋に指で穴を開けて大豆を地面にこぼしてくれた。あの兵隊さんたちは無事に帰国したのだろうか。

このまま北朝鮮にいたら日本に帰れないからと、夜中に一列行進で韓国へと三十八度線を越えた。見つかったら銃殺されるからと黙々と集団での山越え。道中お水もなく、亡くなる子供がたぐさいた。辿り着いた韓国から大きな貨物船で玄界灘を渡り引き揚げた。悲しい印象に残っているのは、船尾でたぐさんの水葬の光景である。昭和二十二年秋にやっと日本に帰国です。船上から眺めた佐世保港や町は、美しい箱庭のように見えた。

私たちは、大庄地区老人クラブ連絡会の活動を応援しています



男性代表
大塚次平さん（南部瑞長会）



女性代表
尼谷芳江さん（道意第1千歳会）

米寿会員表彰

本年度は79名（男性24名、女性55名）が米寿を迎えられ、表彰状と記念品が授与されました。



ラブ連絡会総会

開会のことば、国歌斉唱、物故者に対する黙祷の後、中崎新会長があいさつに立ち、創立五十周年を迎えた喜びと会員の日々の活動に対する感謝とともに、「新役員も選任され、新



大庄地区老人クラブ連絡会 総会

平成28年度
大庄地区老人クラブ連絡会総会

新体制のもと28年度がスタート

平成 28 年度 大庄地区老連役員構成表

女性部会			役員会	
ブロック	代表者氏名	役 職	役 職	氏 名
西大島	堀川美智子	部 長	会 長	中崎 紀夫
東大島	東 君子		副会長	山崎 征司
浜 田			副会長	三場 英之
崇徳院	森田美奈子		副会長	西井サトエ
元 浜	松尾 日子		会 計	飯田 幸男
大庄中央	北 ミチ子		ブロック部長	中村 照夫
大庄西	水上 裕子		女性部長	堀川美智子
武庫川	北 佳枝	副部長	広報部長	高木 健一
東	麦谷多美子	副部長	監 事	矢野 増一
道 意	大島 壽子		監 事	岡本 孝子
蓬 川	佐藤 嬉子			
今 北	中山 道代			
稲葉荘	渡辺 和子			

広報部会			ブロック部会		
ブロック	代表者氏名	役 職	ブロック	代表者氏名	役 職
西大島	島袋 隆		西大島	中崎 紀夫	
東大島	松永 幸枝	編集長	東大島	西井サトエ	
浜 田	飯田 幸男		浜 田	飯田 幸男	
崇徳院	中西 紀子	副編集長	崇徳院	瀬戸口君二	
元 浜	原 和子		元 浜	田中 利一	
大庄中央	税所 静夫		大庄中央	尾崎 昌弘	副部長
大庄西	高木 健一	部 長	大庄西	高木 健一	
武庫川	矢野 博嗣		武庫川	中村 照夫	部 長
東	今西慶太郎		東	矢野 増一	
道 意	三場 英之		道 意	三場 英之	
蓬 川	会田美智子		蓬 川	佐藤 嬉子	副部長
今 北	桐山 公二		今 北	小林 義明	
稲葉荘	平山 丈夫		稲葉荘	山崎 征司	

ご協賛いただいた皆さまへ御礼

このたびは大庄地区老人クラブ連絡会発行の機関紙「ふれあい」刊行に、広告のご協賛を賜り、厚く御礼申し上げます。

本紙は高齢社会に友愛と生き甲斐を求める同志の心の糧となる情報普及をめざし発行して参ります。今後も引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

大庄地区老人クラブ連絡会

新しい体制が始まりました。今後も明るく・楽しく・元気よく活動し、「向こう三軒両隣」の精神をもって声掛けの輪を少しずつ広げていけば、大庄地区がお互いを支え合う地域づくりの中心になると期待しております」と述べ、さらなる発展のため協力を求めました。

米寿会員表彰の後、大庄地区婦人連絡協議会荒木会長から協賛金が贈られました。来賓のあいさつ、祝電が披露されました。続いて議長に岡田伊津子さん（東第三琴浦クラブ）が選出され議事に移り、

(1)平成二十七年事業報告
(2)監査報告
(3)平成二十八年事業計画（案）及び収支予算（案）について審議され、質疑応答を経て拍手多数で承認されました。

最後に、山崎副会長の発声のもと「私たちの信条」を全員で朗読、万歳三唱をもって閉会し、新年度がスタートしました。

次号第四十七号（平成二十八年十一月発行予定）の原稿を募集します。

◇内容：ご自由にお書きください。写真も添えていただければ幸いです。なお紙面の都合上、広報部にて一部お直し・割愛させていただきます場合がございます。

◇締切：九月末日

◇要領：市販の原稿用紙（四〇〇字）一枚程度に、ブロック名・所属会名・氏名を必ずご記入ください。多数のご投稿を心よりお待ちしております。

◇提出先：広報部員 ※ご投稿の方々には粗品を進呈させていただきます。

◇編集後記

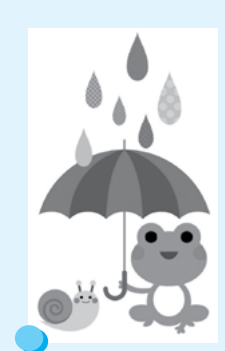
朝のテレビ小説「あさが来た」、毎日見っていました。登場人物のやさしさ、やさしい言葉、思いやり、たくさん、部員の仲間にもそういう人がいます。笑顔のステキな人、言葉のやさしい人、大庄ブロック十二の代表です。会員の皆さま、一度広報部員になられたは。ドラマの中の人間になったように酔いますよ。いつでも広報部への応援よろしく。いろいろな思い、考え、趣味でやっていることなど、ふれあい新聞に投稿してください。

（編集長 松永 幸枝）

◆広報部員

部長	高木 健一（大庄西）
編集長	松永 幸枝（東大島）
副編集長	中西 紀子（崇徳院）
部員	島袋 隆（西大島）
部員	飯田 幸男（浜田）
部員	原 和子（元浜）
部員	税所 静夫（大庄中央）
部員	矢野 博嗣（武庫川）
部員	今西慶太郎（東）
部員	三場 英之（道意）
部員	会田美智子（蓬川）
部員	桐山 公二（今北）
部員	平山 丈夫（稲葉荘）

※ブロック順



私たちは、大庄地区老人クラブ連絡会の活動を応援しています